



東京センターに関わる皆さんに聞きました！

## あなたにとって 関西大学とは？

首都圏で活躍する卒業生に、現在の仕事や活動、学生時代のエピソード、今後のビジョンなどを伺ってきた「KUT OBOG Interview」。この度、第10回を迎えたのを記念して、卒業生をはじめとした皆さんからコメントをいただきました。

人との出会いに恵まれ、  
ビジネスをニュートラルに  
支える広い視野を  
得られた場所。

株式会社シンカ 代表取締役

**江尻 高宏さん**

工学部管理工学科 卒業  
関西大学大学院 理工学研究科  
システム理工学専攻 修了

仲間と旅行やワクワクする経験をいっぱいした関大の4年間は、まさに私の青春。大学生活で様々な人と出会って人脈が広がり、自分の視野の狭さに気付きました。社会に出て仕事をすることで「自分の考え方は数ある中の一つにすぎない」と思えることは、本当に役立っています。関大での学びを抜きにしたら、今の私はないと言えますね。



関大は人生そのもの。  
知のつながり、人とのつながりが  
かけがえない宝になっている。

株式会社ノエクス/Kpnetworks 株式会社 代表取締役

**山田 祐輝さん**

工学部電子工学科 2010年卒

ひとことと言うと「人生」かなあ。僕の中では今も「関大」は続いているような気がしています。学生の時はもちろん、卒業してからもずっと関大の先輩や後輩に助けられてきました。そのおかげで、モノづくりメーカーを起業してから事業を続けていくことができたと思います。だから僕にとって関大は、人生そのものと言えるかもしれない。



程よい距離感で  
見守り力に  
なってくれる  
“親戚のおじさん”。



記者・編集者

**福井 しほさん**

文学部 2016年卒

学業もサークルも自分のペースで楽しめた4年間。教職員の方と深く関わっていたわけではないけど、何かをやりたいと思ったときや必要などには手を差し伸べてくれる方がいました。千里山キャンパスは都心から少し離れていますが、阪急1本で梅田にすぐ出られる距離感も程よい。関大は親戚のおじさんのような、付かず離れず見守ってくれている存在かな。

青春そのものであり  
過去・現在・未来を  
つなげる  
パワースポット。



株式会社マーケティングアンサーズ  
取締役

後舎 洋子さん

社会学部 1985年卒

大阪を離れて早30年。吹田の学び舎の思い出も消えかけていたのですが、縁あって数年前に東京センターを知り、幾度か訪問しました。すると、まさにそこは大阪！関大！卒業生、現役生、先生方の活躍を身近に知ると、青春の懐かしさとともに未来へのエネルギーを感じます。関大は私にとってパワースポットみたいなもので、過去と現在と未来をつなぐ軸ですね。

関大が人と出会う機会をくれ、  
縁をつなげてくれた。  
OBOGへの支援の情熱に感謝。

シンガーソングライター  
はなふさ まゆ

花房 真優さん

経済学部経済学科 2018年卒

私にとって関大は人との出会いをくれ、縁をつないでくれる場所。デビューした事務所とは、大学の4年間で自分をたくさん見つめ直す時間があったからこそ出会えたと思っています。関大のつながりでライブの場も数多くいただけてきましたが、他の会場とは空気が全然違って、皆さん本当に温かい。OBOGへの支援の情熱に感謝しています。



いつでも帰れる自分の“ルーツ”。  
関大での出会いと若い失敗が  
ビジネスの糧になっている。

スリーメンジャパン株式会社 取締役副社長COO

成内 健さん

文学部フランス文学科 2008年卒

ルーツというか「帰れる場所」ですね。在学しながら起業していた縁で、関大出身のいろんな経営者の方にお世話になりました。サークルでも北海道出身の人、アメリカに留学していた人など、さまざまな人と出会えました。異なる価値観や経験を持つ人たちが集まる多様性は、関大の良さですね。すべてが今につながっています。



関大をきっかけに人と  
出会いつながりが広がる。

NOVAホールディングス株式会社スタッフ

M.Yさん

外国語学部 2021年卒

関大は“つながりが広がる場所”です。学生時代は学部やサークル、留学やゼミなどでいろんな出会いがあって、たくさんの刺激をもらいました。卒業した今でも、社会で活躍している関大出身の先輩方と出会う機会があって、これからも関大をきっかけに人とのつながりが広がっていくんだろうなと感じています。このつながりをずっと大切にしていきたいです。



「私らしさ」を見つけて  
女子アナ界へ進んだ。  
関大は人生のターニングポイント。

フリーアナウンサー

塩尻 奈都子さん

総合情報学部 2007年卒

人生のターニングポイントですね。関大に通ったからこそテレビ局のアルバイトに出会えて、タレント活動につながり、メディアを目指すきっかけになったので。高槻キャンパスはこじんまりして高校みたいな環境だったので濃い付き合いができて、かけがえのない親友にも出会えました。今の人生を作ってくれた場所です。



関大は自分にとって原点。  
学生時代に知った新たな価値を  
創造する面白さが今に生きている。

株式会社ビーブラッド 代表取締役

大山 淳さん

工学部応用化学科 2002年卒

飲食店のコンサルティング会社を起業して「淡路島カレー・ライセンス本部」を軸に、風土とフード、地方と都市をつなげようとしている自分にとって原点かなと思います。アルバイトでいろんな業種を経験して、この業界とあの業界をつなげたら価値のあるものを生み出せるんじゃないか、という感覚をつかんだのは学生時代だから。



失敗が許される環境で  
たくさんチャレンジできた場所。  
関大ならではの泥臭さが  
かっこいい。

株式会社ホープス 執行役員

足立 潤哉さん

総合情報学部総合情報学科 2009年卒

関大は失敗しても致命傷にならない、命が守られた安全の中で遊び、チャレンジさせてもらった場所。関大同立ブランドですけど変な学歴頼みはしないから、人生を自分で切り開いているOBやOGも多い。在学中は価値として見えなかったけど、社会に出るとそういう泥臭さや、ブランドを背負わない生き方ってかっこいいなと思います。

関東からの進学でも、  
卒業後に大阪を離れても、  
自分にとっては「ふるさと」。

## 重松 勇輝さん

社会安全学部安全マネジメント学科 2017年卒

関東から関東へ進学して、最初は言葉や文化の違いにカルチャーショックを受けましたが、今や「ふるさと」と呼べる場所ですね。文化の違いを知ったことは、今に生きています。卒業後も東京センターに行くとOBOGの方との新たな交流があり、大阪から離れてしまっても自分にとって関東は「ふるさと」なんだと感じています。



編集者になりたい  
私の夢を後押し  
してくれた場所。

ライター・編集者

## 松尾 友喜さん

文学部 2014年卒

雑誌や新聞が好きで、「文章で伝える人になりたい」と夢に向かって奔走した学生時代。関東の広報スタッフとして学内を取材したり、他大学の学生とフリーペーパーを作るなど活動しました。マスコミ志望の就活は苦戦しましたが、編集の仕事に就くことができたのは関東の先生や友人の応援があったから。関東は、私の夢を後押ししてくれた場所です。



家のような  
場所だから  
「お帰りなさい」  
で校友を迎える。



東京センター事務局長

## 杉本 仁嗣

経済学部経済学科 1992年卒

例えるなら、関東は「家」ですね。帰るべき場所であり、すべての校友が無条件でそこに存在することを許される安心の場所です。私は東京センター事務局長として仕事をしながら、すべての校友に「お帰りなさい」という気持ちで接しています。皆さん、いつでも帰ってきてください！

ドラマティックな  
変化が起こる  
「門」のような存在。



東京センター職員

## 小林 亮介

関東とは、「門」ですかね。大学という門をくぐる前と後では、知識を得て顔つきが変わります。どんな変化が起きるか分からないけど、とてつもない可能性を秘めた門。人と出会い気付きが生まれ、夢が見つかり人生の方向性が定まる…。関東で過ごす一瞬一瞬は、そんな世界の狭間で巡るドラマティックな時間なんだと思います。

先輩から後輩へと  
受け継がれていく  
でっかい関東愛を東京で実感。

東京センター職員

## 西尾 奏穂

文学部日本史・文化遺産学専修 2018年卒

私にとって関東は「でっかい愛」。OBOGの皆さんは、体育会の部が全国大会に出場すれば応援に駆け付けてくださり、在学生の東京での就活支援では「何か協力できないか」とお声がけくださったりします。先輩方にしていただいたことを後輩たちが下の世代へとつなげていくので、関東の縁が愛情深いものだ日々実感しています。

魅力溢れる学生と  
教職員が集う  
誇らしい場所。



東京センター職員

## 小瀧 佳奈

私にとって関東は、魅力溢れる学生と教職員が集う、誇らしい場所。東京センターで日々の業務を通じて接する皆さんから感じるの、親しみやすく人間味溢れる人ばかりで、誰もが関西大学を愛しているということ。「関東ならではの空気感だな」と強く感じるとともに、このような環境で働ける事を日々誇りに思い、業務に励んでいます。



関西大学ご卒業生のみなさまへ



関西大学東京センターでは、首都圏の卒業生の交流を目的として、公式ホームページ等で皆様のお仕事や活動のご紹介をしていきたいと考えております。よろしければ、卒業生の皆様向けに、簡単な自己紹介をお願いいたします。

▼入力はコチラから



①自己紹介/簡単なプロフィール (100~250文字)\*

②あなたにとって関西大学とは? (100~200文字)\*

③皆さんにお知らせしたいこと (お仕事・イベント等あれば)

※1.文字数はあくまで目安ですので、ご自由にお書きください。※2.「\*」は必須



関西大学東京センター公式マスコット、忍者の「ほなくん」。おもな任務は、館内やSNSなどで広報活動のお手伝いをする。時には取材にも参加します。



## 関西大学東京センター

100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9階  
TEL: (03) 3211-1670 (代) FAX: (03) 3211-1671  
<http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/>



公式Twitter



公式Facebook



LINEスタンプ

KUT OBOG Interview 2021 特別編  
\*無断転載を禁じます。

発行・監修 | 関西大学東京センター  
企画・協力 | 校友の皆さん

お問合せ先  
[ku-tokyo@ml.kandai.jp](mailto:ku-tokyo@ml.kandai.jp)